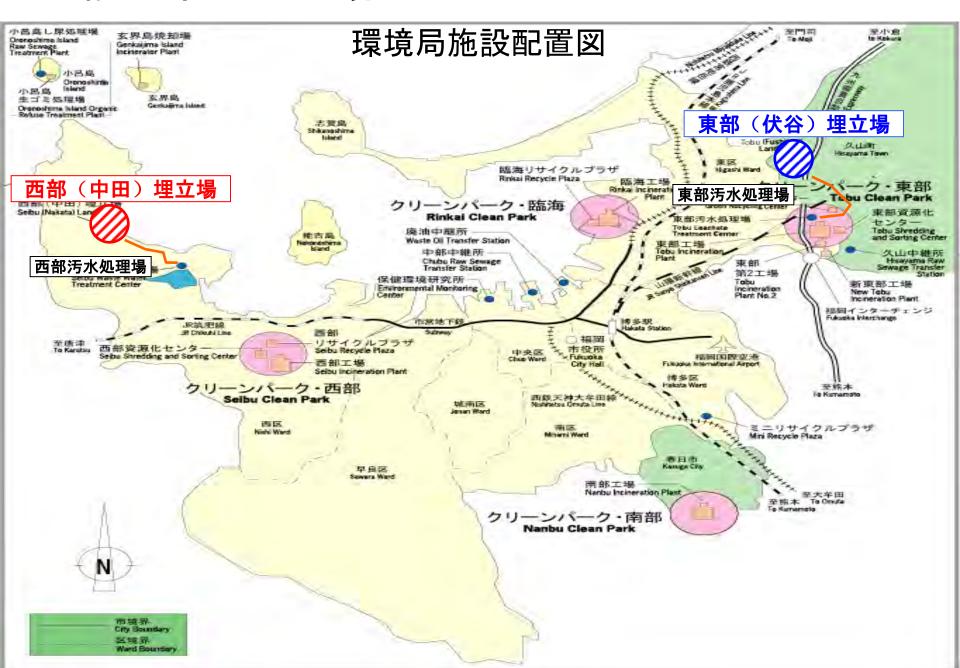


1.福岡市の埋立場 2.「福岡方式」の開発経緯 3.埋立跡地利用

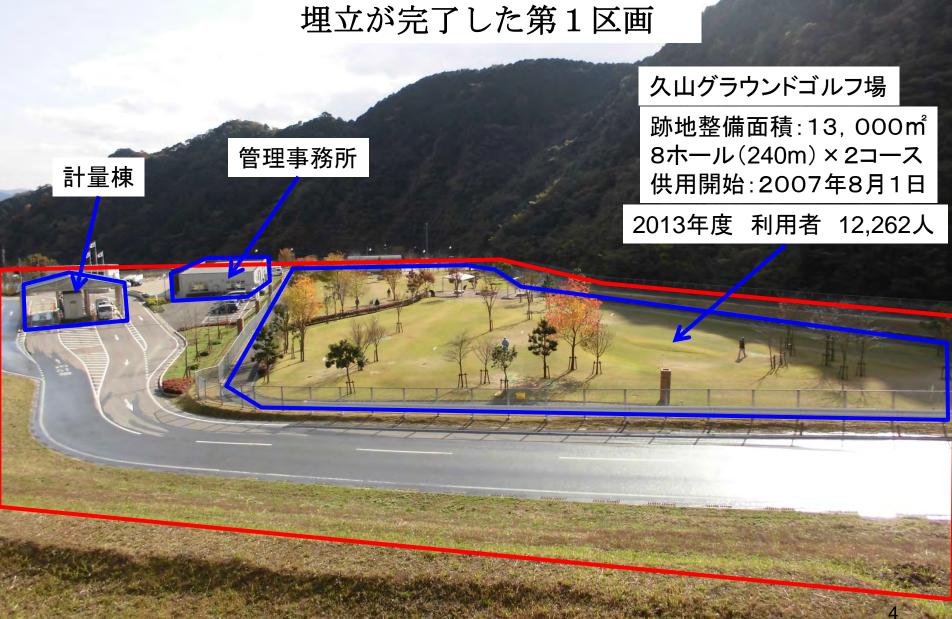
4.国際協力

### 1. 福岡市の埋立場

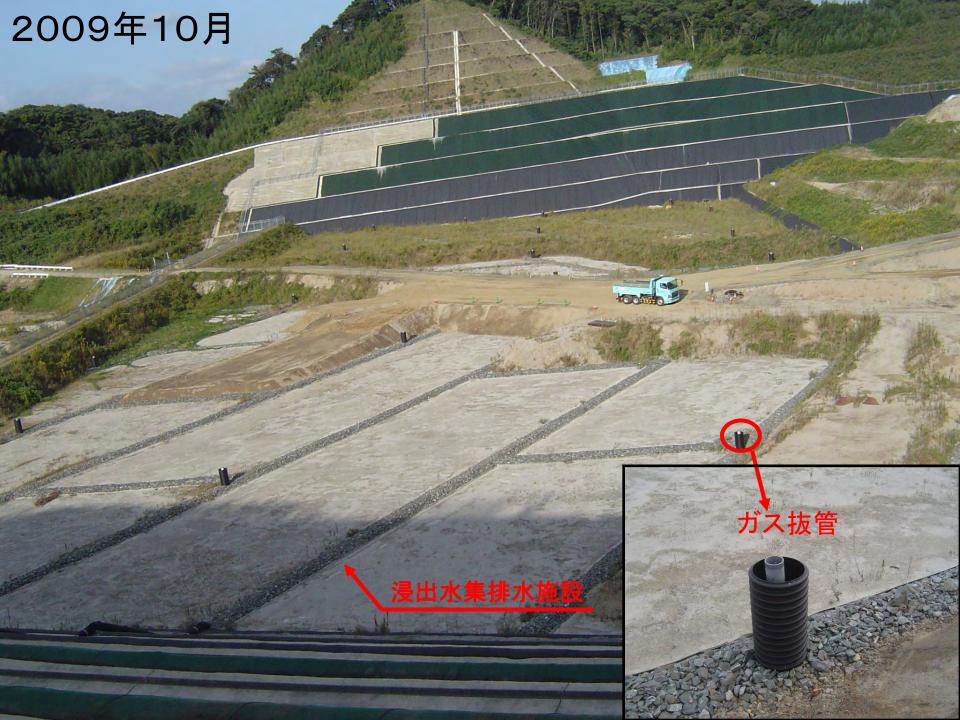




2014年11月



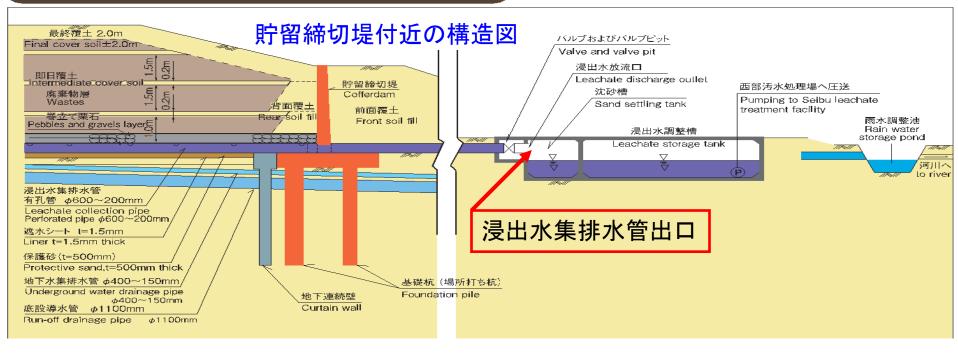




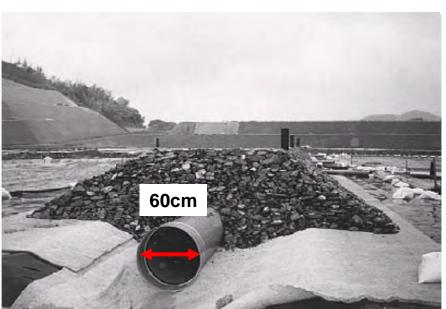
# 埋立途中のガス抜き写真



#### 貯留締切堤周辺 Detailed view of cofferdam area

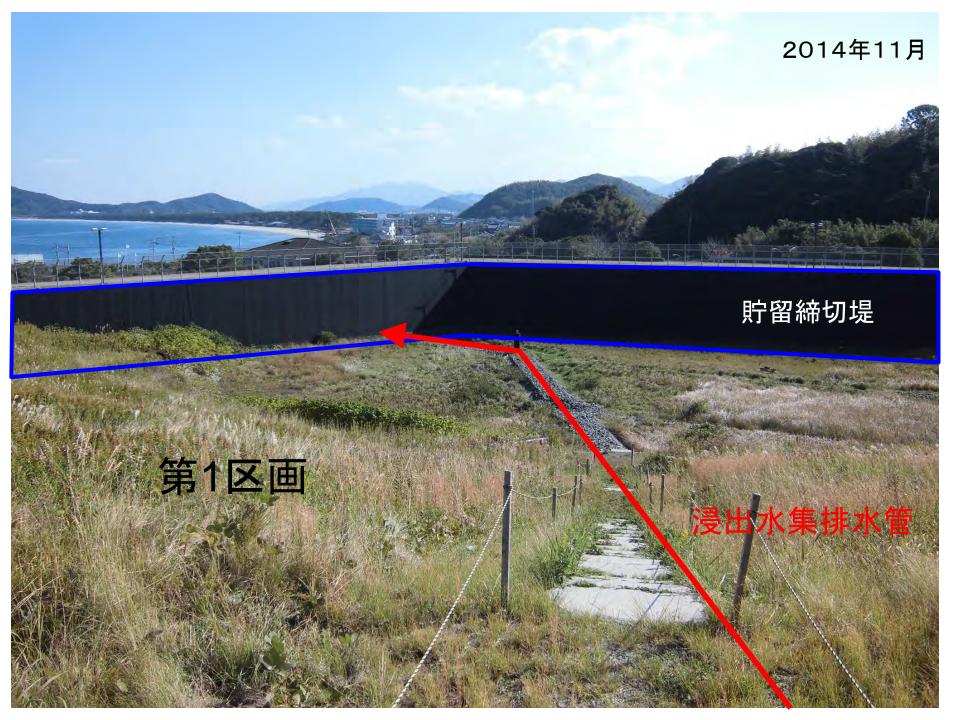


#### 浸出水集排水管の施工例(幹線)



浸出水集排水管放流口 Collected leachate outlet pipe







# 2. 福岡方式(準好気性埋立構造)の開発経緯





1970年頃の福岡市の埋立場(八田埋立場)

1960~70年代初めまでは、日本も現在のアジアの国と同じ状況であった(=嫌気的埋立)



有害浸出水、悪臭等の環境問題の発生



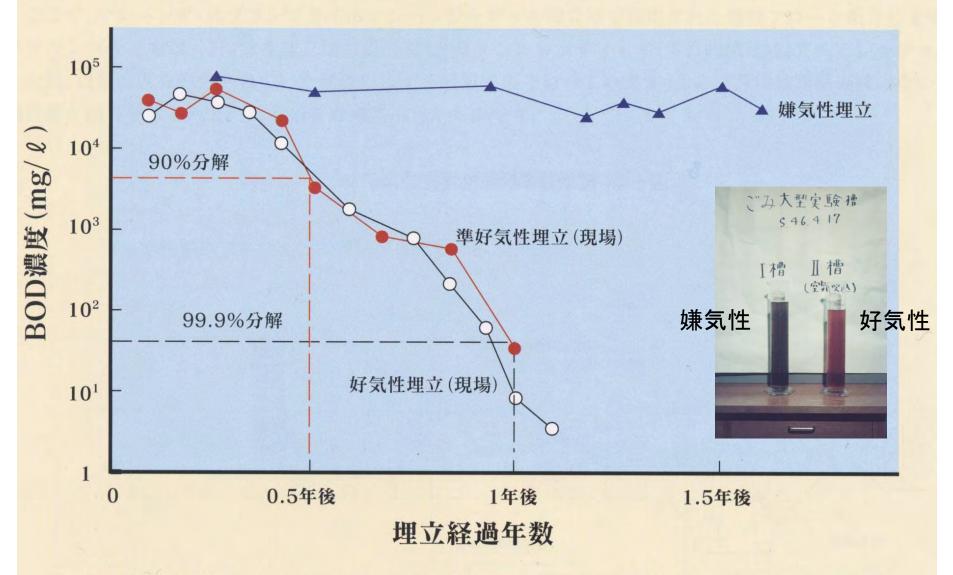
浸出水の浄化を目的とした埋立地改善実験の開始

# 福岡市と福岡大学による実験

1973年久山埋立場に建設された実験プラント



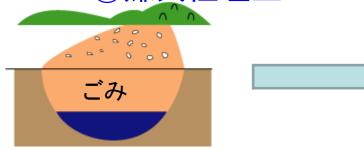
### 福岡方式の有効性 一浸出水処理一



埋立構造と浸出水中のBODの経時変化(可燃ごみ)

#### ごみの埋立構造の種類は主に3種類に分類

#### ①嫌気性埋立



- •二酸化炭素、メタンガスなどの有害物質の大量 発生
- •ごみは水浸しの状態であり、かつ嫌気的



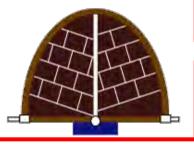




- ・二酸化炭素、メタンガス などの有害物質の軽減
- •浸出水処理が容易
- ・建設、維持費が高い



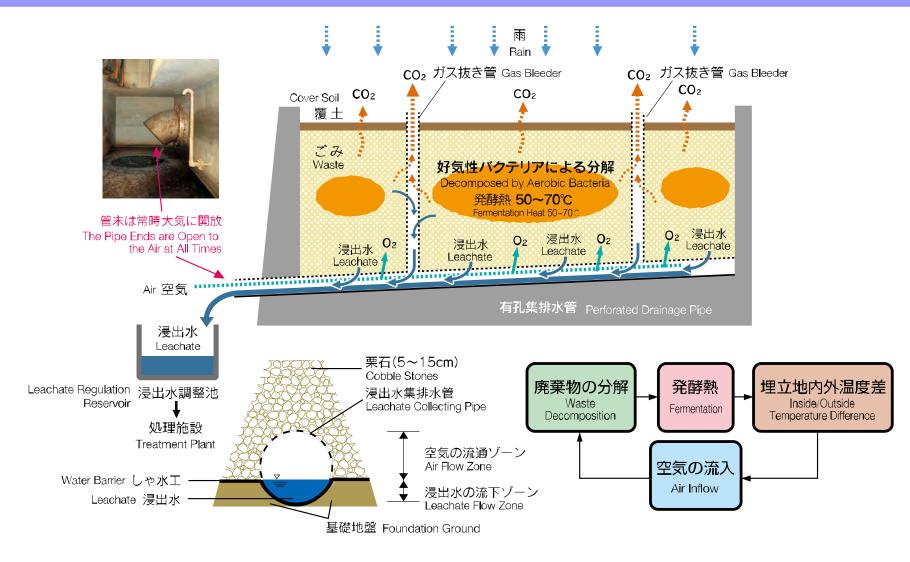






- •二酸化炭素、メタンガスなど の有害物質の軽減
- •浸出水処理が容易
- ・建設、維持費が安い

#### 福岡方式(準好気性埋立構造)の概念図



#### 福岡方式の特長

### 福岡方式とは?

福岡市と福岡大学の協力により開発された環境への負荷が少ない 効率的な埋立方式(=準好気性埋立構造)

#### 特徵

- 1 高度な技術が不要
- 2 低コスト
- 3 環境にやさしい

#### 福岡方式の実施施工例 福岡市





準好気性埋立構造を日本で最初に採用した 福岡市新蒲田埋立場 1975年

#### 3. 埋立跡地利用

#### 今津埋立場

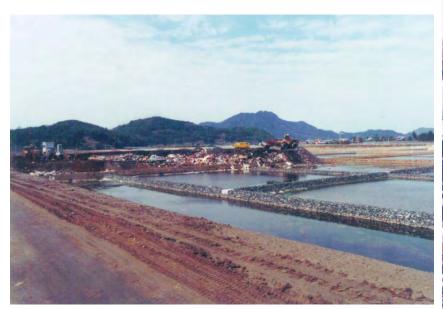
2014年9月 福岡市消防局撮影



瑞梅寺川

埋立容量:約1,687,000t

埋立期間:1975年~1999年







今津埋立場の様子 埋立期間1975~1999年

#### 福岡方式採用の埋立地の跡地利用









# 4. 国際協力 (中田埋立場)



JICA研修

浸出水集排水管布設実習

竹を利用した浸出水集排水管製作実習



#### 中華人民共和国で「福岡方式」を採用した2都市



### 中華人民共和国 山東省濰坊市新埋立場建設予定地



#### 中華人民共和国 山東省濰坊(ウェイファン)市埋立場



### 中華人民共和国 山東省濰坊(ウェイファン)市埋立場



#### 中華人民共和国 雲南省蒙自県新埋立場建設予定地



## 中華人民共和国 雲南省蒙自県埋立場



# 中華人民共和国 雲南省豪自県埋立場







30



改善後の状況2012年



浸出水調整池と ECO-FAN

※風力を利用し廃材等で作った調整池攪拌装置



